

あ が
阿賀・かのせ地区
(新潟県阿賀町)

- 計 画 期 間 平成 21 年度～平成 25 年度
- 面 積 940 h a
- 交付対象事業費 531.2 百万円
- 町人口 11,313 人 (地区内人口 2,097 人)

ポイント 観光スポットを結ぶ交流基盤の整備と、雪に負けない基盤整備の推進

地区概要 観光スポットを利用した交流人口の拡大の推進と、地域住民の生活に欠かせない道路機能の向上を図る。

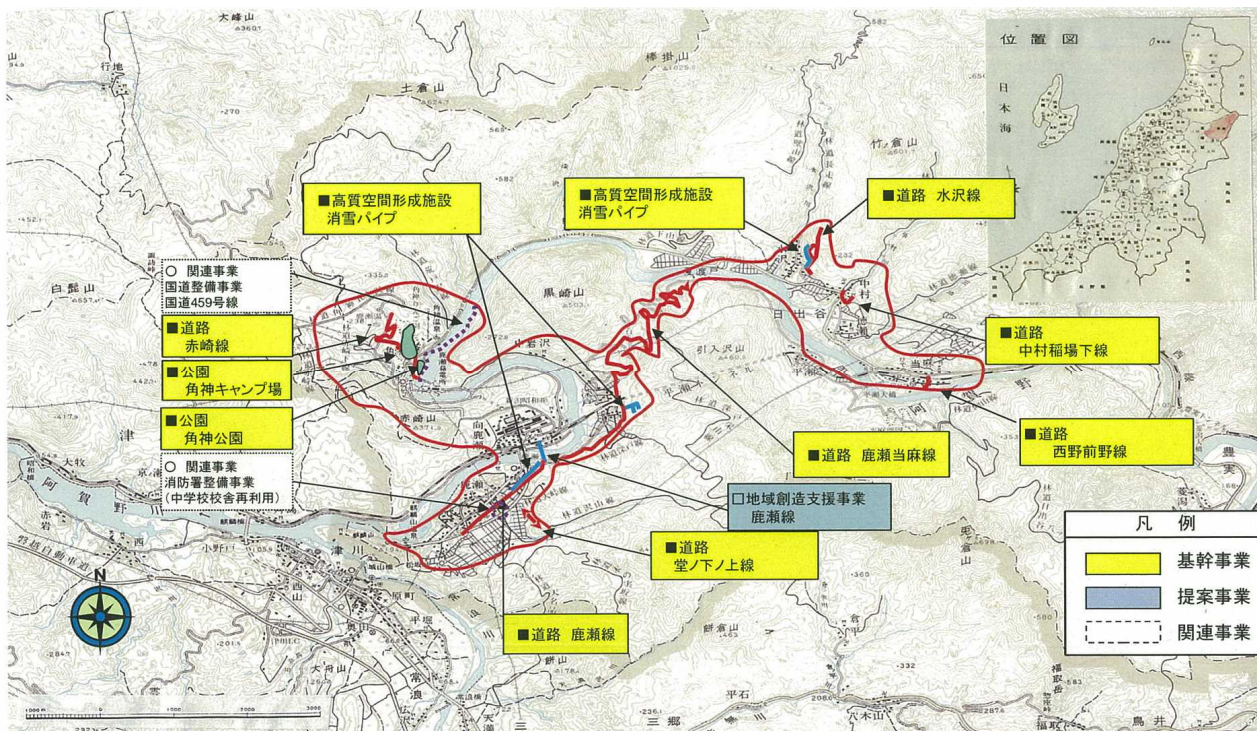
目 標 地域の自然を生かした、自然と都市の共存生活を育む町づくり。
道路、公園等の基盤整備による、自然と調和した観光交流の拡大、及び地域における安心・安全な生活の確保を目標とした。

指 標

地区内の観光入込客数	242,093 人 (H19)	→	250,000 人 (H25)
除雪時間の短縮	2,172hr/年 (H18)	→	1,969hr/年 (H25)

事業内容

- 基幹事業 (486.5 百万円) → 道路 (幅員 4.0m~6.0m、延長 9,800m)、公園 (2 箇所 A=3.8ha)
高質空間整備・消雪パイプ (3 箇所 1,345m)
- 提案事業 (44.7 百万円) → 地域創造支援事業 (道路 : 1 路線、300m)、事業活用調査



地区の現況と課題

阿賀・かのせ地区は阿賀野川が縦断し、その川沿いに集落が点在し、背後には飯豊連峰が聳え、その雄大な自然からの恵み、おいしい水、温泉や農産物、豊富な山菜等の恵みを受けている。反面、冬期間は2m近くの豪雪に悩まされている。

この地区には自然とのふれあい、癒しを求め、観光スポット等での散策や見聞等、多くの観光客等が来訪している。また、地元の人々は、積極的に地区イベント行事に参加するほか、民家を提供する等、気軽に、そして気さくに観光客との交流を図っている。また、冬期間においても、地域生活の負担となっている雪を有効利用し、イベント等の企画を行っている。

しかしながら、高齢者には雪の処理は非常に大きな負担となっているほか、早朝等の通勤・通学時、緊急時には、元々狭隘な道路が大雪でさらに狭くなり、すれ違い等の支障を来すなど、高齢者に限らず地域生活への重大な負担が生じている。

以上の状況を踏まえ、観光客及び地区住民が楽しみ、さらに阿賀・かのせ地区を存分に満喫出来る景観整備、道路の路線網整備、施設整備が必要であり、合わせて冬期間に強い道路の路線網を構築する必要がある。

提案事業の特徴

道路・橋梁事業

「新潟県土木歴史構造物」であり、写真や絵画のスポットとして人気がある鹿瀬橋について、高欄、橋梁塗装等の改良を行い、景観に配慮した施設として整備を進める。

計画策定プロセス

地域プログラム会議の開催

地区の観光協会関係者、町、地区関係者との地域プログラム会議を検討開催し、既存の観光施設の充実はもちろんのこと、それらを活かしながら田舎生活の充実と都市との交流を図るための将来の活用方策等も検討しており、これからも随時開催していく予定である。



町道堂ノ下ノ上線 整備前



町道堂ノ下ノ上線 整備後



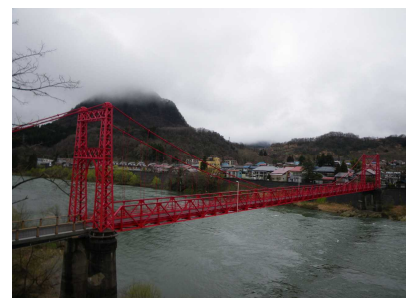
角神公園 整備前



角神公園 整備後



町道鹿瀬線（鹿瀬橋）整備前



町道鹿瀬線（鹿瀬橋）整備後